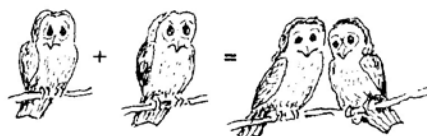


## 薬の分量の量り方と与え方

### 記号の意味：

- = イコール、～とおなじ  
+ プラス、～と～をたす



$$1 + 1 = 2$$

いち と いち をたすと に

### 部分は次のように書き表す：

1 錠 = 1 個丸ごと =



1/2 錠 = 1 個の半分 =



1 1/2 錠 = 1 個と半分 =



1/4 錠 = 1 個の 4 分の 1 =



1/8 錠 = 1 個の 8 分の 1 (1 個を 8 等分したもののひとかけ) =



### 計量

薬の重さは、通常、グラム (g) とミリグラム (mg) で表す。

1,000mg = 1 g (1,000 ミリグラムは 1 グラムである。)

1mg = 0.001 g (1 ミリグラムは、1 グラムを 1,000 等分したときの 1 個のことである。)

### たとえば



大人用のアスピリン Aspirin 1 錠には 300 ミリグラムのアスピリン Aspirin が含まれている。0.3g または 300mg と、書き方は違うが、どちらも 300 ミリグラムのことである。



乳児用のアスピリン Aspirin 1 錠には 75 ミリグラムのアスピリン Aspirin が含まれている。0.075g または 75mg と、書き方は違うが、どちらも 75 ミリグラムのことである。

**留意点：**薬の重さを言うのに、今でもグレーン (gr) という単位を用いている国がいくつかある。1 グレーンは 65 ミリグラムである。したがって 5 グレーンのアスピリン Aspirin 1 錠は、約 300 ミリグラムということになる。

ある薬 1 錠が何グラムなのか、何ミリグラムなのかを知ることが重要である場合が多い。

たとえば子どもの患者に、乳児用のアスピリン Aspirin の代わりに大人用のアスピリン Aspirin を使いたいとする。しかし、どのくらいの大きさのかけらを与えたらよいのだろうか。

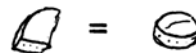
そういう場合は、ラベルにある小さな文字の印刷を読む。次のように書いてある。アスピリン Aspirin : アセチルサリチル酸 0.3 g (アセチルサリチル酸=アスピリン)



0.3 g = 300mg、0.075g=75mg である。そこで、大人用アスピリン Aspirin 1 錠は、乳児用アスピリン Aspirin 4 錠に相当することがわかる。

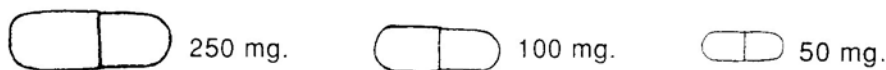


そこで、大人用アスピリン Aspirin を 4 等分すればそのひとかけらを乳児用アスピリン Aspirin 1 錠の代わりに、子どもに与えることができる。



どちらもまったく等価である上、大人用アスピリン Aspirin を分割するほうが安上がりである。

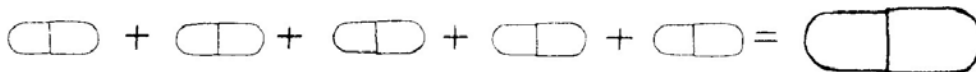
**注意：**薬は、ことに抗生物質は、幾通りかの違う重さと形のものが作られていることが多い。たとえばテトラサイクリン Tetracycline は、三つも違った大きさのカプセルになっているだろう。



**薬は、指示された量だけ与えるように気をつけること。**その薬に、何グラムまたは何ミリグラム含まれているのかをチェックすることは、非常に重要である。

たとえば、テトラサイクリン Tetracycline の 250mg カプセル 1 個を 1 日 4 回用いる、という指示があったとする。しかし、手元に 50mg カプセルしかない場合は、50mg カプセル 5 個を、1 日 4 回 (つまり 1 日に全部で 20 カプセル) 用いなければならない。

$$50 \text{ mg.} + 50 \text{ mg.} + 50 \text{ mg.} + 50 \text{ mg.} + 50 \text{ mg.} = 250 \text{ mg.}$$



### ペニシリン Penicillin の計量

ペニシリン Penicillin は、ユニット (単位) という言い方で量を表すことが多い。

U=ユニット

$$1,600,000\text{U} = 1 \text{ g または } 1,000\text{mg}$$

ペニシリン Penicillin にはいろいろな形状 (錠剤および注射) のものがあるが、多くの場合、1 回の投与量は、400,000U である。

$$400,000\text{U} = 250\text{mg}$$

## ■液体状の薬

シロップ、懸濁液、トニックその他の液体状の薬の分量は、ミリリットルで表す。

ml = ミリリットル

1 リットル = 1,000ml

液体状の薬は、大さじ何杯、または小さじ何杯というように処方されることが多い。

薬の使用説明書に、1 tsp 用いる、と書いてあれば、5ml 使用しなさい、という意味である。

小さじ (tsp) 1 杯 = 5ml

大さじ (Tbs) 1 杯 = 15ml



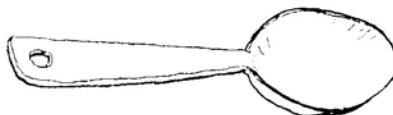
小さじ 3 杯 = 大さじ 1 杯

人々が使っている<小さじ>には、8ml も入るものもあれば、3ml しか入らないものもある。薬を与えるときに小さじを用いる場合は、過不足なく、正確に 5ml 量れることが大切である。

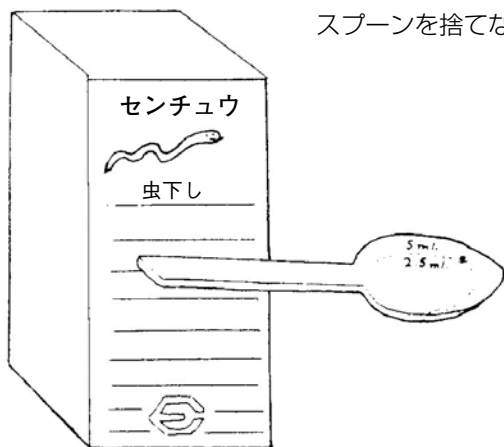
### 薬を量るのに用いる小さじで、正確に 5ml を量るにはどうするか。

1. 5ml の計量スプーンを買う。

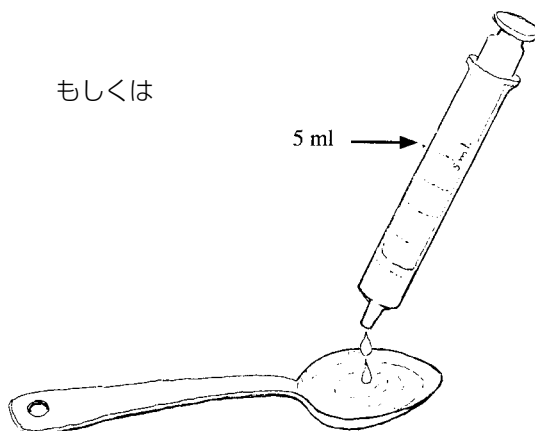
もしくは



2. プラスチックのスプーンがついてくる薬を買う。このスプーンは、すりきり 1 杯が 5ml で、半分の 2.5ml の位置に、目盛りが刻んであるかもしれない。このスプーンを捨てないで残しておき、ほかの薬を量るために用いる。



もしくは

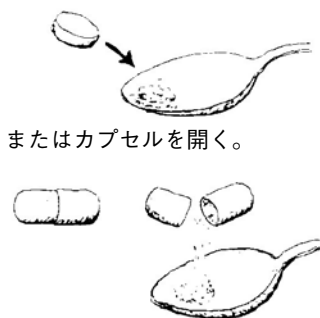


3. 家にある小さなさじに注射器その他、何か分量を量れるものを用いて 5ml の水を入れ、そのさじの液面の高さに印をつけておく。

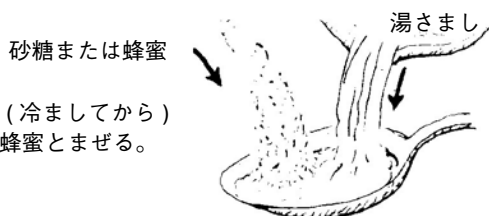
## ■小さな子どもへの薬の与え方

錠剤またはカプセル状の薬は、子ども用として、シロップ状または懸濁液状（特別な状態の液体）でも売り出されていることが多い。手持ちの薬で量を比べてみればわかるが、通常、シロップは錠剤やカプセルよりずっと割高である。次に示す作り方に基づいて、自分でシロップをつくれれば節約できる。

錠剤を充分細かく砕く。



砂糖または蜂蜜  
粉を煮沸した水（冷ましてから）と、砂糖または蜂蜜とまぜる。



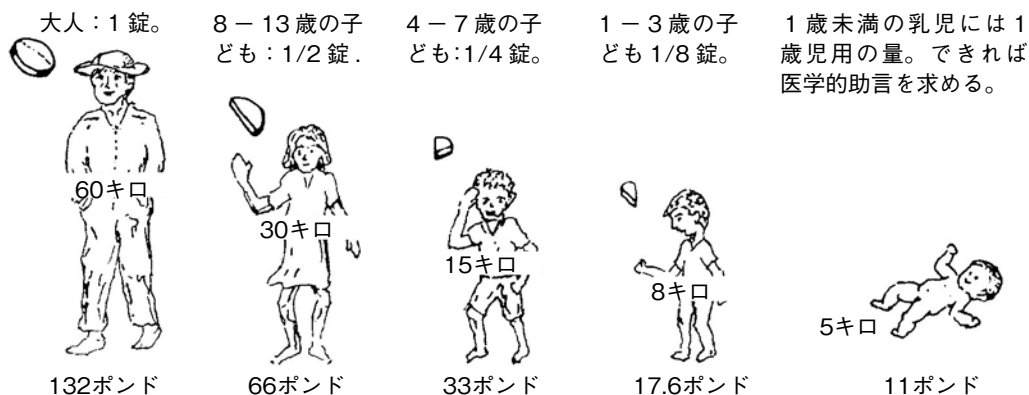
薬が非常に苦い場合（テトラサイクリン Tetracycline または クロロキン Chloroquine）は、砂糖または蜂蜜をたくさん加えなければならない。

子ども用のシロップを、錠剤やカプセルから作る場合は、薬を入れすぎないように、細心の注意を払うこと。また、1歳以下の子どもに蜂蜜を与えないこと。まれに、危険な反応が出ることがある。

注意：窒息を防ぐために、子どもが仰向けに寝ていたり、頭がのけぞっていたりするときには、薬を与えないこと。必ず起き上がらせるか、頭を前向きに持ち上げるよう、いつも気をつける。子どもがひきつけを起こしていたり、眠っていたり、意識がなかったりする場合は、決して口から薬を与えてはならない。

## 大人用の薬の使用説明書しかない場合、子どもに与える薬の量をどのように決めるべきか？

一般に、子どもが小さければ、必要な薬の量も少ない。必要以上の薬を与えることは危険である。子どものための投与量の情報がある場合は、注意深くそれに従う。投与量がわからない場合は、子どもの体重または年齢をもとに算出する。子どもには、通常、次に示すように、大人の何分の一かに量を減らして与えなければならない。



1 キログラム (kg) = 2.2 ポンド (lb)

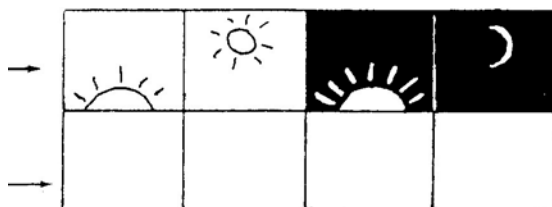
## ■薬の飲み方



薬はできるだけ指示された時刻に飲むことが大切である。1日に1回だけ飲む薬もあるし、もっと頻繁に飲まなければならない薬もある。時計がなくてもかまわない。指示書に、<8時間ごとに1錠、1日3回飲むこと>とある場合なら、朝1錠、午後1錠、夜1錠である。もし、<6時間ごとに1錠、1日4回飲むこと>とあれば、朝1錠、昼1錠、午後1錠、夜1錠である。あるいは<4時間ごとに1錠>という指示であれば、飲む時間の間隔をなるべく同じくらいにして、1日に6錠用いる。

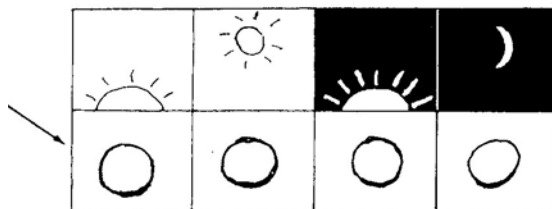
誰かに薬を与える場合は、かならず使用説明書を書いてあげ、その薬を、どのように、いつ飲むのか、その人に復唱してもらうとよい。その人が理解していることを、充分確かめること。

文字が読めない人に、薬を飲む時刻を思い出してもらうために、このような図表を渡してあげるとよいだろう。

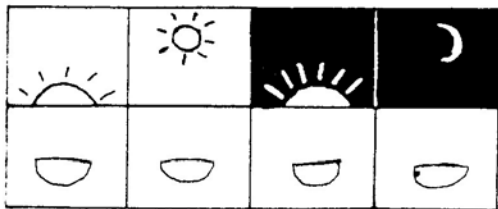


下の空欄に、飲むべき薬の量を絵で表して、どういう意味かを注意深く説明する。

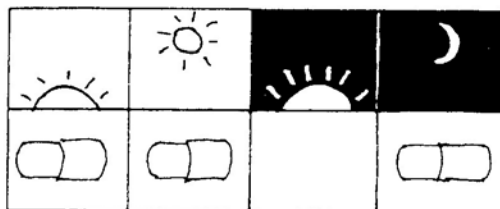
たとえば、この図は、1日に4回、1錠ずつ飲む、つまり日の出ころに1錠、昼に1錠、日没に1錠、真夜中に1錠飲む、ということを表している。



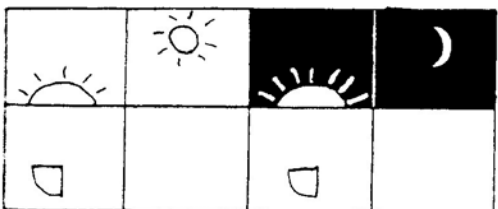
これは、1日に、1/2錠を4回という意味である。



これは、1日に、1カプセルを3回という意味である。



これは、1日に、1/4錠を2回という意味である。



これは、1日に、小さじ2杯ずつ2回という意味である。

